大阪城

2020 8/20 (木) 14095号

全港湾 西成分会

ごんぶり 6645 4945

40度の熱さを記録している日本列島だが、地軸が傾き、地球が自転しながら、水素融合で燃えさかる太陽のまわりを回っているので、かならず秋がやってくる。生きてるどんな人間もいずれ死ぬのと同じだろう。10日もすれば、9月、なんとか今年も、秋をつかむことができるだろうか。しかし、経済、政治であけくれる社会はあわただしい。GDP（国内総生産）が426月には、リーマンショック時以上に、戦後最悪に落ちこんだという。倒産、失業が、これから激しく、大きく起こってくると予想されていて、生き苦しい世の中に変化していきそうです。

コロナ陽性者は、根絶の方針を捨ててしまっているので、波の谷間にただようように、数が今日は多いとか少ないとか、しゃべっているだけ。大阪は重傷者がふえつづけ、日本一になっている。

一人の国会議員が検査で病院へ行ったとかどうかで、さわいでいて、権力をめぐるドタバタ劇が秋には勃発しそうである。内閣改造とかいうが、平静にできるだろうか。秋の陣になるのだろうか

コロナが近づいて、労働市場もどうなることやら…
大坂のコロナ患者重症者が多い

猛暑が続きます
現場の仕事熱中症心配ですが

なぜ大坂のコロナ感染患者は重症者がおおいのか？重症になるまで検査しないから。PCR検査を素早くしないから見つかった時にすでに重症になっているという意見が説得力がある。

暑さの峠を越えるには
あとひと山ふた山あるようです。

盆も通り過ぎて「一応仕事の再開」ボチボチという状態ですが、例年のペースからすると、一旦現金仕事がなくなってしばらくは復帰しないのですが…。

今はコロナが全国的に猛威をふるっていて、「労働市場」としても仕事が減って惨憺たる状況が続いてきましたが、さらに一段と近づいてきているようなので厳しい事態になってきてるようです。さらに最近特掃以外の「建設現場」に出る労働者がめっきりへって「労働市場の再生」が危ぶまれますが、どうでしょう。なにごと命あってモノだねですが……